

評価の観点と中間評価用調書の各項目との対応表

評価の観点	中間評価調書の項目
①拠点としての適格性	
○研究実績、研究水準、研究環境等に照らし、当該拠点の目的たる研究の分野における中核的な研究施設であると認められるか。	
・ 下記のような点を総合的に考慮して、各拠点が当該分野における中核的な研究施設であると認められるか。	
> 当該研究施設におけるこれまでの研究成果	I-4-(1)
> 競争的資金等の採択状況	I-4-(2)
> 卓越した研究者やリーダーの存在	I-4-(1)、(3)
> 共同利用・共同研究に参加する関連研究者が利用できる研究スペースや宿泊施設等の確保	III-1~4
・ ネットワーク型拠点の場合、ネットワーク全体として当該分野の中核的な研究施設であると認められるか。	II-1、VI
・ 同一分野複数拠点の場合、以下の点に留意し、それぞれの拠点が中核的な研究施設であると認められるか。	
> 当該分野における各拠点の特徴	II-1
> 当該分野における拠点毎の役割分担及び連携体制	
○共同利用・共同研究に必要な施設、設備及び資料等を備えているか。	
・ 当該研究施設が有する共同利用・共同研究に必要な施設、設備、学術資料、データベース等の整備状況 等。	II-8-(1)~(3)
○共同利用・共同研究に参加する関連研究者に対し、施設の利用に関する技術的支援、必要な情報の提供その他の支援を行うための必要な体制が整備されているか。	
・ 共同利用・共同研究に参加する関連研究者に対する支援業務に従事する専任職員(教員、技術職員、事務職員等)が配置されているか。	III-1-(1)
・ 技術的支援について、例えば、技術職員の配置や設備のスムーズな利用等の面で、適切な体制が整備されているか。	II-3、III-1-(2)、III-2、III-3
・ 関連研究者に対して必要な情報を継続的に提供するための体制が整備されているか。	II-3、II-5
・ その他拠点の活動内容に応じて、例えば、事務体制や研究スペースの確保、宿泊施設の確保等が適切に行われているか。	II-3、III-1~3
・ 関連研究者に対する支援を行うに当たり、必要な全学的支援(予算・人員の配分等)が行われているか。	III-4
・ ネットワーク型拠点の場合、当該拠点の運営の中核となる研究施設が設定され、当該施設が拠点の活動全体に責任を持って中心的役割を果たす体制が構築されているか。	II-1、II-4-(1)~(4)、VI
②拠点としての活動状況	
○全国の関連研究者に対し、共同利用・共同研究への参加の方法、利用可能な施設、設備及び資料等の状況、申請施設における研究の成果その他の共同利用・共同研究への参加に関する情報の提供が広く行われているか。	
・ 下記のような情報について、例えば、ホームページやメーリングリスト、学会誌での情報提供等により、広く情報提供が行われているか。	
> 共同利用・共同研究への参加の方法(課題の公募要領、施設の利用要領・利用資格等)	II-5
> 共同利用・共同研究において利用可能な施設、設備及び資料等の状況	
> 拠点における研究の成果	
> その他共同利用・共同研究に参加する際に得られる支援の内容	
○多数の関連研究者の参加促進・関係分野への働きかけや大型プロジェクトの企画運営など、関連分野の発展への取組が行われているか。	II-10
・ 特に公私立の研究者の参加を促進するための取組が行われているか。	II-11
・ 共同利用・共同研究を活かした人材育成が行われているか。	1-4-(4)、II-12
・ 大型プロジェクトの発案、運営、ネットワークの構築などに参画し中核的な取組をしているか。	II-13
○拠点の運営に当たり、広く外部の意見を取り入れているか、または、取り入れることのできる仕組みとなっているか。	
・ 例えば、全国の関連研究者の意向を反映させやすいような体制や組織構成となっているか。	II-4-(2)、(3)
・ 積極的にコミュニティからの意見を取り入れるような取組がなされているか。	IV
・ ネットワーク型拠点の場合、全体として拠点機能を発揮できるような構成となっているか(例えば、構成施設単位で運営委員会が設置されるような体制になっているか)。	II-1、II-3、VI
○共同利用・共同研究に多数の関連研究者が参加しているか。	
・ 共同利用・共同研究の実績(設備の利用状況、データベースへのアクセス数、共同研究の件数、研究集会やシンポジウムの開催数、共同研究者数など)は研究施設の規模や実績と比較して十分か。	II-6~9
・ 従前は全国共同利用施設ではなかった拠点においては、拠点認定前と比較してどの程度実績が上がっているか。	
○共同利用・共同研究の課題等の採択に当たり、公平な審査が可能な仕組みが整備されているか。	
・ 共同利用・共同研究の課題等の募集方法や採択方法が適切か(広くコミュニティに開かれているか、公平に採択されているか、など)。	II-4-(2)~(4)
③拠点における研究活動の成果	
○共同利用・共同研究を通じて優れた研究成果が生み出されているか。	
・ 下記のような客観的な指標から、当該拠点の共同利用・共同研究を通じて優れた研究成果が生み出されているといえるか。	V
> 共同利用・共同研究を活用して発表された論文数、高いインパクトファクターを持つ雑誌等への掲載、共同利用・共同研究が発展してプロジェクト研究につながったものなど。	
○研究活動の成果が地域社会や広く国際社会に対しても貢献できているか。	
・ 公開講座や公開講演会等の実施状況。	
④関連研究分野及び関連研究者コミュニティの発展への貢献	
○関連研究分野や関連研究者コミュニティの発展に貢献できているか。	VII